

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→①デザインの一貫性：神の裁きの原則、パタン

→②ダイナミックな多角的、立体構造：背後に神意〔偶然はない〕

→④^{まこと}真の神の預言：成就の確かさ

→⑧ひな型、予型：本物の写し、一地に反映される天上の出来事一

キリストの啓示「この後に起こること」 その1 【1】—【2】

黙示録6章～19章

→表1

☆「サタンが支配する地」の描写に関する特記事項

1. 中心的シナリオからの逸脱部分、一幕間一が挿入されている
2. 要点の繰り返し、一再要約一がある
3. 鍵言葉の挿入、一前ぶれ一がある

【1】6：1～8：1 七つの封印

☆七つに分けられた「災い」 →レビ記26：18、一七倍の懲らしめ一

☆一連の七つの裁きの進行、共観福音書の終末についてのキリストの講話に並行

☆ヨハネ、地震を一貫して完結の直前の前兆として位置づけ

☆神の預言

- ①この世はますます悪くなる
- ②戦争、戦争のうわさ、国家間の敵対の増加…
- ③世の終わりには、病、飢饉などの災い、困難が裁きとして必ず起こる

6章

1-2節：最初の封印 白い馬、一勝利する征服者一

*「白」は征服、勝利を象徴

3-4節：第二の封印 赤い馬、一戦争一

*「赤」は流血、戦争を象徴

5-6節：第三の封印 黒い馬、一ききん一

*「黒」は飢饉に関連づけ

*オリーブとぶどうの木は根を深く張るので、干ばつに強い

7-8節：第四の封印 灰色の馬、一死一

*「青ざめた」は死を象徴

*不気味な描写「ハデスがつき従う」、キリストを受け入れずに死んだ者に死後もまといつく「死の力」を象徴

→四人の騎手には、人間文明がもたらした災いを集約

9-11節：第五の封印 一殉死一

*すべての時代の、福音のため苦しみ亡くなった神の民の叫びは「神の国」到来を求める訴え「人々の数が満ちるまで」：

*神はあらかじめ定められた計画に従ってこの世を支配される、一ユダヤ人の考え一を反映「…私たちの報いの収穫の実は、いつ来るのですか…『あなたたちのような人の数が満ちるときである。神は世を秤で量り、時の大きさを測り、時の数を数えておられる…予定された升目が満たされるまで…』と」（エズラ記第二ラテン語4：35-37）

聖書

12-17節：第六の封印　—怒りの日—

- *天体の異変、世の終わりのしるし
- *主の再臨の直前に起こるしるしの一つ

「山」：①文字通り、山をも破壊する大地震や火山噴火と解釈
②政府、王国、権威、支配、この世の勢力の隠喩

「島」：全地、全世界、諸国民を包括

- *これらの災いが神からのものであることを未信者も認識
- *キリストの名を呼ぶ者、逃れ場「岩なる神」を求める者は魂が救われる
- *悔い改めない罪人は神から逃れ、隠れようとする

「小羊の怒り」：

- *七つの角のある小羊、一義を確立し、公義を行う完全な力を備えたキリスト—

7章

第六と第七の封印との間の幕間

☆限られた数のユダヤ人、地上で守られ、数えきれないほどのキリスト信徒、天で守られる

- 1-8節　地上の、印を押される十四万四千人
- 9-17節　天上の、数えきれない大群衆

1-8節

「四方の風」：神の裁きの破壊的な代理人

「地」：イスラエル

「海」：異邦人諸国

「木」：個々人　　を象徴

- *聖霊によって「しるし」をつけられた者たちは守られる

9-17節

- *大艱難から抜け出た者たち、戦いの後の勝利の喜びを天の御座の前で賛美

大きな患難

☆キリストの再臨に先立つ、サタンが最後の敵愾心を燃やす期間

- ★七年のうちの前半の三年半：艱難期
- ★後半の三年半：大艱難期

☆信徒たち、自然死をも含めた殉死によって、勝利を得る

8章

1節：第七の封印

- *聖徒たちの祈りを聞くために起こった静けさ

【2】8：2-11：18　七つのラッパ

2-5節

- *すべての聖徒たちの祈りとともに捧げられた香、神の御前で受け入れられる
- *天の祭壇の火で炊かれた香は裁きの手段で、諸々の現象が引き起こされる

ラッパの裁き

☆最初の四つは天災、人災

1. 第一のラッパ：照準は地、三分の一が焼失、草木の死　　7節
2. 第二のラッパ：照準は海、三分の一が血色に、魚、船が減ぼされる　　8-9節
3. 第三のラッパ：照準は水源、三分の一が汚染、水源に落ちた星は「苦よもぎ」　10-11節
4. 第四のラッパ：照準は自然の光源（太陽、月、星）、三分の一が光を失う　12-13節

☆続く二つは「悪魔的」、悪霊が関与する災害

☆最後の三つのラッパ、三つの「わざわい」とも呼ばれる

聖書

9章 三つの災い

1-12節：第五のラッパ（第一の災い）

- * 悪魔的ないなごの災いの導入
- * ここでは、星は神の代理人、—おそらく御使い—
- * いなごの災いは主の日に伴われる荒廢の前兆
- * 第一の災いは神の民に影響を与えない
- * これらのいなごは自然界の昆虫ではなく悪霊

: 11 「…ヘブル語でアバドンといい、ギリシャ語でアポリュオン…」（下線付加）：

- * 破壊の擬人化
- * 「**空中の權威を持つ支配者**」、**「この世を支配する者」** →エペソ人2：2、ヨハネ14：30

13-21節：第六のラッパ（第二の災い）

- * ラッパの音を聞いた天上の信徒（魂）、祭壇から声を発し、その声に触発され災いが起こる
- * 神の怒りを執行する邪悪な御使いたち、縛られていたのが今解かれ、
神不在のこの世を懲らしめるために立ち上がる
- * 世界中の人口の半分以上が死に至る
- * 二億の軍勢は東洋からの悪霊の軍勢、数えきれない軍隊
- * 恐怖をもたらし破壊力のある馬、地獄のように非道

悪霊との関わり

☆ここに描かれているのは悪霊崇拜

- * 人々は、チャンネル、媒体を通して「霊的存在」なるものの忠告を求める
- * お守り、魔よけ、幸運の飾り物、星占い、占いゲーム等々、悪霊への「導入」になり得る

10：1-11：14 第六と第七のラッパとの間の幕間

10章

1-7節

- * 火と雲の柱、出エジプト時、イスラエルの民を荒野で導き、守ったことを思い起こさせる
「**小さな巻き物**」：

①5章の巻き物は、その内容を明らかにすることが意図された

②この小さな巻き物は、ヨハネが食べることが意図された

- * 「**雷**」は神の懲らしめ、神の愛と憐れみを拒む者たちの上に下る裁きを示唆
「**もはや時が延ばされることはない**」

* 神が預言者たちに顕して来られた、人に対する御目的が今達成されようとしている
→そのクライマックスは主イエス・キリストの再臨

天上でのキリストの支配

☆キリストは現在、この世の信徒たちのために執り成してくださっている

☆キリストが、神に反逆する悪に満ちたこの世のために祈られたという記録は全くない

→ヨハネ第一5：19、詩篇2篇

「神の奥義」の成就

☆神が悪の力に勝利され、永久に支配される

☆第七のラッパが鳴り響くとき、神が預言者たちに語って来られたことが成就する

8-11節

- * 「巻き物」（神の言葉、聖書）を食べる行為、預言的啓示を消化、理解することを象徴
- * 「甘さ」は、約束された御国がいよいよ到来、成就しようとしていることを表現
- * 「苦さ」は、もっと裁きと艱難を経なければ、そのことが成就しないことを表現
- * ヨハネ、今度は「**もろもろの民族、国民、国語、王たち**」に預言することが命じられた

聖書

11章

1-2節

* 異邦人のための外庭と都エルサレムは三年半の間、異邦人の支配下に置かれる

「**四十二か月**」：

1. 反キリスト支配の三年半
2. 「**千二百六十日**」
3. 「**一時と二時と半時の間**」

エルサレム第三神殿の位置

☆**北部説** ☆黄金門との一直線上「**霊のドーム**」の位置とみなす

☆**南部説** ☆三次元のコンピューター分析で割り出したデータに基づく説

☆レーダーによる観測、この説の可能性を支持

考古学的考証

☆今日のエルサレムの神殿の丘の西壁「**嘆きの壁**」はローマの駐屯地アントニア要塞の西壁で、ローマ兵によって完全に破壊された神殿は、南のダビデの町に建てられていた

→ユーチューブでの解説：<https://www.youtube.com/watch?v=oBFSCVw00NQ>

3-14節

* 二人の証人、法外な力と影響力で全世界の人々に宣教

* 証しの力が神の霊によって供給されることを強調

モーセとエリヤ

1. モーセは神の律法を導入、エリヤは預言者の群れの創設者、両者は「**律法と預言者**」を象徴

2. キリストの変貌の出来事のと看現れ、キリストの十字架上での犠牲について三者対談をした

3. 特徴的な奇蹟

エリヤ ①天から火を下す力 ②天を閉じる力

モーセ ①水を血に変える力 ②疫病をもたらす力

サタン、反キリストに化身

☆反キリストの死後、サタン自ら反キリストに化身、反キリストは復活、超人的な力を発揮

☆反キリストなる「**獣**」、二人の証人を憎み、殺す

☆二人の証人の死体がさらされる「**大きな都**」はエルサレム

☆全世界同時中継は人口衛星を通してのテレビ放映が可能になった今日初めて実現可能に

☆ケーブルニュース、ユーチューブによる全世界放送による生中継が視野に

☆殺された二人の証人の甦り、神の真の証人であったことを立証

15-19節

* 第七のラッパによって起こったこと、15-18章で詳述

* 第七のラッパの吹き鳴らしの結果は、キリストの千年支配

<p>3. 継続的、加速度的、同時進行</p> <p>☆封印の1から2、2から3、3から4へと出来事の起こる期間が次第に縮まり、封印の5から6と同時に、ラッパの1が始まり、同様に加速度的に出来事が起こる</p> <p>☆ラッパの5から6と同時に、鉢の1が始まり、封印、ラッパ、鉢、すべての災いの7は最後に同時に起こる</p>	<p>封印 1-6</p> <p>幕間 7章</p>	7
	<p>ラッパ 1-6</p> <p>幕間 10-11章</p>	7
	<p>幕間 12-14章</p> <p>鉢 1-6</p>	7
	<p>No.7 は他の出来事から隔離されている</p> <p>666 はサタンの数</p>	